

全国鐵構工業協会 青年部会 第15期
令和3年度 3地区会長(南地区) WEB会議 次第

◎日時:令和3年4月21日(水) 19:00~

《次第》

1:開会

司会:馬場

- ◎ 開会(馬場) 開会前にWEB会議ルール等説明の後、開会宣言
- ◎ 会長あいさつ(池田) 出席された方へ謝辞。
北地区・中地区開催されたことを報告。

◎ 出席者の確認 兼 自己紹介 下記の通り

○本人出席 全青会

(池田、馬場、西本、宮脇、金原、菊池、高田、坂本、長谷川)(第15期)

○南地区 各都道府県会長

[中国ブロック長:(有)西本鉄工建設	西本氏]
(岡山県会長:(株)西鉄	西原氏)
(島根県会長:出雲鉄工(株)	勝部氏)
(鳥取県会長:(有)和島鉄工所	倭島氏)
(広島県会長:境谷工業(株)	川野氏)
(山口県会長:(株)フジサワ鉄工	藤澤氏)

[四国ブロック長:(株)坂本鉄工	宮脇氏]
(徳島県会長:大伸工業(有)	杉友氏)
(香川県会長:(株)メタルテック	松澤氏)
(愛媛県会長:(株)高栄製作所	高橋氏)
(高知県会長:(有)岡村鉄工	岡村氏)

[九州ブロック長:(有)三石建設工業	三石氏]
(福岡県会長:(株)共和製作所	武末氏)
(佐賀県会長:澤野建設工業(株)	澤野氏)
(長崎県会長:(株)境鉄工所	境氏)
(大分県会長:(株)カマック	川野氏)
(宮崎県会長:(有)第一鉄工所	黒木氏)
(鹿児島県会長:新屋敷鐵工(株)	新屋敷氏)
(沖縄県会長:拓南製作所	宮國氏)

○欠席者 無し

○鋼構造出版 佐藤氏 実末氏

◎ 議事録作成人

○作成人 宮脇

2: 委任状の件 司会: 馬場

各県会長へ委任状の提出を依頼。〆切 5 月 10 日

3: 総会議案説明 議事進行: 西本

1) 第 30 回 通常総会 議事 議案審議

第 1 号議案

議案内容に異議等無し。

第 2 号議案

議案内容に異議等無し。

池田会長より少人数での会長会議の開催を検討中。

第 3 号議案

2 号議案、予算案を含め金原会計より報告。

議案内容に異議等無し。

4: ノズルチップの報告(会長)

令和 3 年 3 月 報告書参照

配布資料を基に説明。

収集金額は過去最高額との報告。

来期も継続事業として行いたい。

最も協力額の多かった広島県会長に活動内容を確認。

5: PR 動画の件

PR 動画作成の経緯、動画活用方法等を説明。

配布資料のアンケートを基に意見を伺った。

・岡山県(西原氏)

使用実績は無し。採用募集先(学校等)に PR 動画のアナウンスを行った。

・愛媛県(高橋氏)

外国人研修生の面接時に使用。コロナ禍の中、面接等を行えない為活用。

反応としては、就職希望者向けの為好評だった。

・沖縄県(宮國氏)

学生、一般企業、グループ企業等に業種の理解・普及の為に活用。

若年層の反応は薄かったが、経験者等には好評。

- ・長崎県(境氏)
PR 動画作成は楽しかった。ただし活用する機会が少なく活用できていない。
活用できる場を考えていきたい。
- ・馬場副会長(全青会)
中地区での会長会議にて活用について参考になる意見があったことを報告。

6:コロナ後について

- 配布資料のアンケートを基に意見を伺った。
- ・島根県(勝部氏)
新会員が増えたが、交流及び懇親が行えない。終息後は県内外問わず
交流・懇親の場を設けたい。
- ・高知県(岡村氏)
県内活動まったく集まれている。落ち着いたら県内・四国で集まりたい。
- ・佐賀県(澤野氏)
活動が制限された中、WEB 会議等を活用。対面での活動をしたい。
卒業された方の送別会も行えていないので開催したい。
- ・長崎県(境氏)
対面では集まれておらず、活動が行えていない。終息後には色々と企画や事業を
計画している。(工場見学や講習会等)
- ・大分県(川野氏)
活動が出来ない。直近のコロナ拡大もあり集まれない。
本来の意見交換会が十分にできていない。
- ・香川県(松澤氏)
役員会は集まっているが、全体としては集まれている。次回、感染症対策は十分に
とって簡易ではあるが総会・懇親会の開催を予定している。
個人としては、客先への訪問を行いたい。
リモートでの立会検査実績あり。
- ・九州 BC 長(三石氏)
BC 事業として予定していた、D アークの勉強会・ハイスキップ工法・原価管理勉強会等
コロナ終息後、活発に行いたい。
集まれない分、WEB 上での関係構築を図っている。
- ・馬場副会長より WEB 上での活動実績の聞き取りが行われた。
- ・佐賀県(澤野氏)
県内各種会議を WEB 上にて開催。12 月には JSCA との勉強会も行った。

7:人材について

配布資料のアンケートを基に意見を伺った。

・鳥取県(倭島氏)

募集はかけているが、新規採用は少ない。コロナ後は学校等からの見学も減少。その際にPR動画等を活用している。新入社員には各種講習会への参加、既存社員には溶接ヒューム講習会等参加。
社員の方との懇親が出来ないので、福利厚生 of 拡充をしている。

・広島県(川野氏)

全体として採用減。自社HP・ハローワーク等で募集している。
社員教育はベテランと若手のペアで行う。(仕事の覚えは早いと思われるが、言葉の伝わり方でのトラブル有)
組合のHPの内容を利用して教育に活用。離職率は3割程度と報告がある。

・徳島県(杉友氏)

数年、新規採用は無し。(自社)
新規雇用は外国人研修生の検討をしている。県内ではベトナム国籍の比率が多い。

・福岡県(武末氏)

求人検索サイト等を利用。経験者及び若年層の希望者は少ないが中年層・未経験者の希望者は増えている。
教育としては社内マニュアルを試用。外国人研修生への資格取得の推進。
採用の年齢についての質問がされた。

西本議長(全青会)より挙手性にて調査。

60歳代希望者無し。50歳代少数。40歳代が半数程度。

20~40歳代を各社希望。

坂本副会長(全青会)

担当作業により希望する年齢は変わってくる。

・馬場副会長

中地区会長会議より、仕事の内容ではなく企業の魅力を強くしたら若い方の希望者があり、近年は採用が続いている。(準備期間には数年必要だった)

・宮崎県(黒木氏)

県立の専門学校に関しての求人は造船関係、県外FAB以外の業種が多い。
多くが造船・県外企業に流れる。(10年以上前の話ではあるが)

・馬場副会長(全青会)

宮崎県立専門学校は大阪のFAB子弟が入校。近年県外 of 入学希望者は多いが学校側は県内企業を希望しており難しいとの話もある。

外国人研修生について馬場副会長より

現在 5 年間で終わりだが、業種によっては延長が可能。業界での延長ができるような活動をしてほしいとの声がある。

・大分県(川野氏)

外国人溶接工は現在 2 名。地元ポリテク等から溶接工を中途採用ではあるが採用している。見学に来てもらい希望者は面接。

・広島県(川野氏)

福山方面(県東部)は外国人研修生がいる印象。広島市内でも AW 資格取得者もいる。技術取得をした研修生には残って欲しいという気持ちはある。

・坂本副会長(全青会)

現状のコロナ禍でアルバイトも出来ずにいる若い方がいるので、知人経由の紹介等で見つかる例もある。

・沖縄県(宮國氏)

コロナの影響と思われるが新卒の採用があった。営業職 1 名、CAD オペレーター、工務部 3 名、事務 1 名(中途採用)。

・長崎県(境氏)

造船からの溶接工が流出しているが、採用事例はあまり聞かない。組合を通して挨拶はあったが、同じ溶接工でも分野が違うので動いていない様子。年齢層も高めの印象。

・鹿児島県(新屋敷氏)

自社では求人は出しているが採用実績として最近は無し。入ってきても続かない。研修生もコロナの影響で入国できていない。

・山口県(藤澤氏)

潤沢な採用は難しいが、3 年間連続して毎年 1 名採用はしている。人づてに、企業としての魅力を認められて決まっている。

馬場副会長より「他地区でも出たが、人材も大事だが値戻しの話はどうか」

・西本議長(全青会)

大手 FAB より現状値戻しは難しいとの声がある。
会員間で連携して値崩れを防ぐことが重要ではないか、現実難しいが。

・岡山県(西原氏)

単価の下落は顕著。横の連携が出来ている企業は仕事量も確保できている模様。多くの企業が連携出来ている状況ではないのが実情。
大きな物件は動いているが、全体としては少ない。

- ・愛媛県(高橋氏)
自社として6月建方900t、9月建方900t確保しており、3社連携している。
単価として1件は通常、もう1件は単価が厳しい。
- ・九州BC長(三石氏)
数年前より3社で協力体制をとっている会員がいる。
月1回で情報交換をして、各社の足りないところを補い合いながら進めている。
協力体制企業間では無理な金額で受注をしなくてもいい環境を構築しつつある。
- ・沖縄県(宮國氏)
3社で連携をしている。協力体制を作り金額の維持に努めている。
大型物件になると県外FABの参入があるので厳しい。現状中小物件が公共・民間共に少ない状況。

8:各青年部の運営について、その他

池田会長よりアンケートの趣旨の説明

- ・福岡県(武末氏)
年齢によりが順次卒業予定なので、数年の間に1/3程度まで減少する。
卒業された方は親会へスライドしていく。
新規入会の予定は現状居ない。
- ・高田副会長(全青会)
親会兼任の青年部会員が多く親会と青年部会の垣根が無くなってきている。
- ・馬場副会長(全青会)
親会兼任の青年部会員が増えてきているのは理解ある親会が生まれてくる。
定年制の有無についてヒアリング。
- ・鳥取県(倭島さん)
年齢と共に親会へスライドしていく流れなので、卒業の規定はしていない。
- ・高知県(岡村氏)
数年前までは50歳までだったが55歳まで延長。会員数減少もあり延長。
- ・池田会長(全青会)
関東では定年制度が無かったが、親会へ移行してもらうように年齢制限を採用した県がある。その際にまとまって卒業となった。
- ・金原会計(全青会)
静岡県としては延長しないと今後人数の減少が進むので伸ばすことを検討中。

・長谷川理事(全青会)

愛知県は 45 歳で卒業。組合員数が多いが青年部会員数が少ない。
新規入会員の予定もあまり多くはない。
現在会員数を増やすことを要検討。賛助会員や関連業種の方等。

・佐賀県(澤野氏)

準会員(賛助会員)は 1 名いるが参加はあまり多くはない。

・広島県(倭島氏)

45 歳定年制、今までは若手後継者だったが、若手技術者等間口を広げて会員数を確保はしているが、今後減少する見込み。
2 年前から 45 歳定年に改訂。

・沖縄県(宮國氏)

青年部会・営業部会とあるが会員数は少ない。
FAB の数が少ない為、人数が固定されている。

※その他

鋼構造出版(実末氏)

WEB 会議は活用されているが、実際に対面できないことで交流・親睦が深めることができないのが残念。コロナ禍の中、会員間の距離を近づける活動に期待。

鋼構造出版(佐藤氏)

青年部ならではの順応力で WEB 会議を活用されている。コロナ後に対面で青年部のつながりの構築に期待。

池田会長が会議写真を撮影。

馬場副会長より Facebook、YouTube 全青会チャンネルのアナウンス。

坂本副会長より、大阪府青年部 30 周年記念誌の案内。

9:閉会

宮脇理事より 閉会の挨拶があり、南地区会長 WEB 会議終了

* 時間配分及び協議・審議内容の順番は当日変更がありますのでご了承下さい。